

## 7 夫婦関係

以下 NFRJ03 データを使用した夫婦関係についてのすべての分析は、現在配偶者がいる回答者（男性：2463人、女性：2647人）を対象としている。また年齢コーホートは出生年から算出した。

### 7-1 夫婦の家事参加

図 7-1 から図 7-8 までは、回答者本人と配偶者のそれぞれが、現在どのくらいの頻度で「食事の用意（図 7-1）」「食事のあとかたづけ（図 7-2）」「食料品や日用品の買物（図 7-3）」「洗濯（図 7-4）」「掃除（部屋、風呂、トイレなど）（図 7-5）」「子どもと遊ぶこと（図 7-7）」「子どもの身の回りの世話（図 7-8）」を行っているかを示している。質問紙では「ほぼ毎日」「1週間に4～5回」「1週間に2～3回」「週に1回くらい」「ほとんど行わない」の5つのカテゴリーを順に1、2、3、4、5で回答させている。グラフでは1→5、2→4、3→3、4→2、5→1に置き換え、平均点をプロットした。配偶者の実施頻度は回答者が推察したものである。なお NFRJ03 は若年層と中高年層で調査票をわけており、中高年層向けの質問紙には、「子どもと遊ぶこと」と「子どもの身の回りの世話」の項目はない。さらに若年層でも「子どもはいない」とこたえている回答者がおり、これらの回答者はグラフからは除外してある。

NFRJ98 と同様 NFRJ03 でも、家事のほとんどは妻が行っている。NFRJ03 と NFRJ98 とでは夫婦の家事参加に関する質問項目について異なる点もあるので、厳密な比較は困難であるが総体的には次のようなことが言える。

「食事の用意」と「食事のあとかたづけ」に関しては、年齢コーホートに関わらずそのほとんどを妻が行っている。しかし妻の70-74歳コーホートを境に頻度は有意に低下している( $p < .01$ )。これは健康状態や既婚子との同居の影響であろう。「食料品や日用品の買物」に関しては夫の60-64歳コーホートを境に夫の参加が増加している。妻には年齢コーホートの影響は認められない。「洗濯」に関しては、他の家事と同様、妻がそのほとんどを行っているが、妻は70-74歳コーホートから頻度が減少傾向にあり、夫の頻度が増加する傾向にある。「掃除」に関しては NFRJ03 では「部屋、風呂、トイレなどの掃除」となっているが、NFRJ98 では「風呂の掃除（図 7-6）」のみである。しかし NFRJ03 でも NFRJ98 でも、65-69歳コーホートから夫回答者の参加が増加する傾向にある。子育てに関しては NFRJ03 と NFRJ98 とで質問項目と質問している対象が異なっている。すなわち、NFRJ03 では若年層回答者にのみ、「子どもと遊ぶこと」と「子どもの身の回りの世話」を尋ね、中年層回答者には尋ねていない。NFRJ98 では全員に対して「育児や孫・子どもの世話」という形で尋ねている。この理由から図 7-7 と図 7-8 ではグラフが男女ともに45-49歳コーホートで途切れているが、NFRJ98 の図 7-9 では75-77歳コーホートまでグラフが続いている。図 7-7 から

図 7-9 の比較でわかることは、育児に関してもおもな担い手は母親であること、「子どもの身の回りの世話」に比べると、「子どもと遊ぶこと」で夫の参加度が高いこと、育児負担は回答者の加齢と子どもの成長とともに低減していくことなどである。

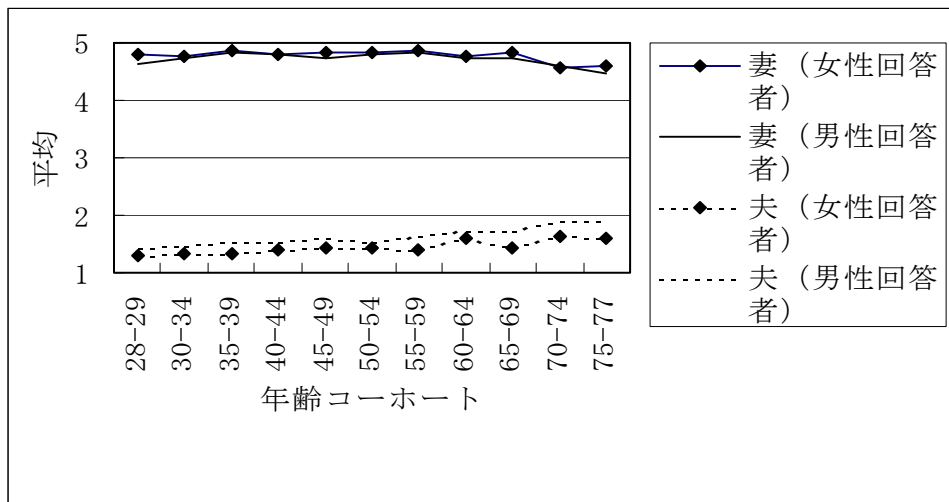


図 7-1 食事の用意

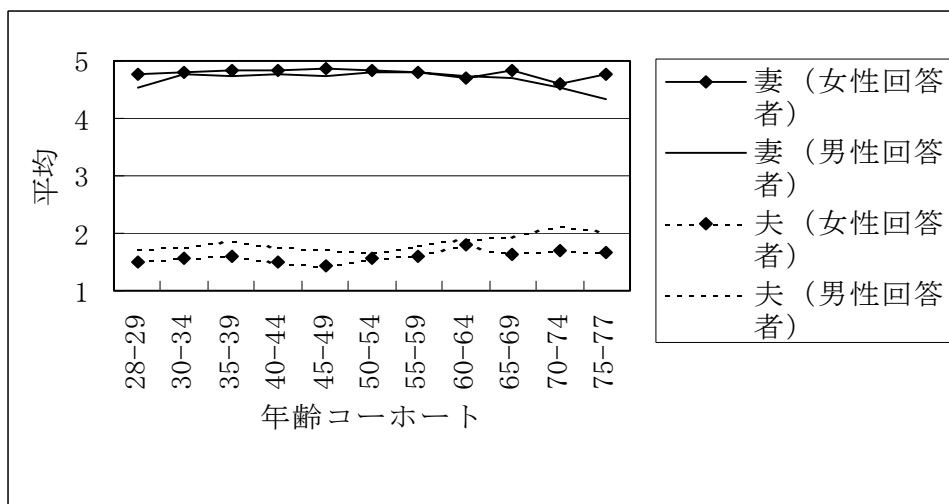


図 7-2 食事のあとかたづけ

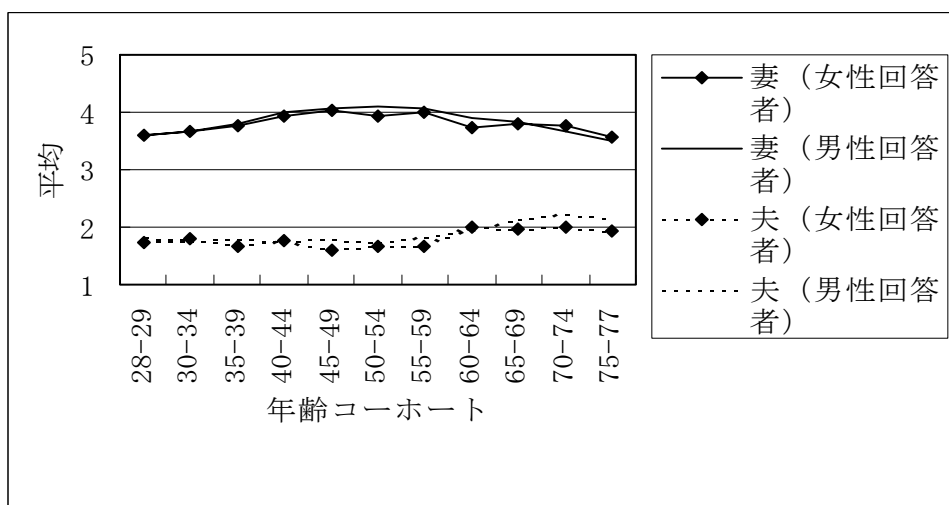


図 7-3 食料品や日用品の買物

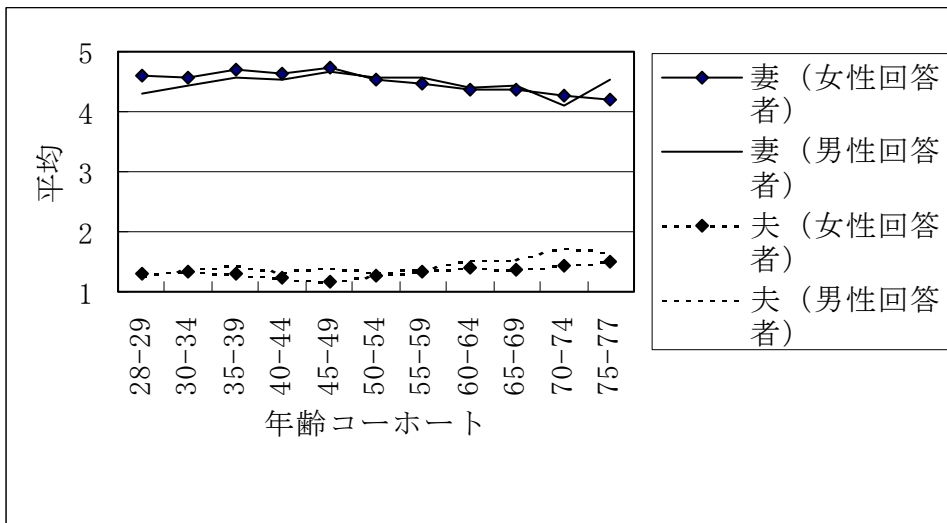


図 7-4 洗濯

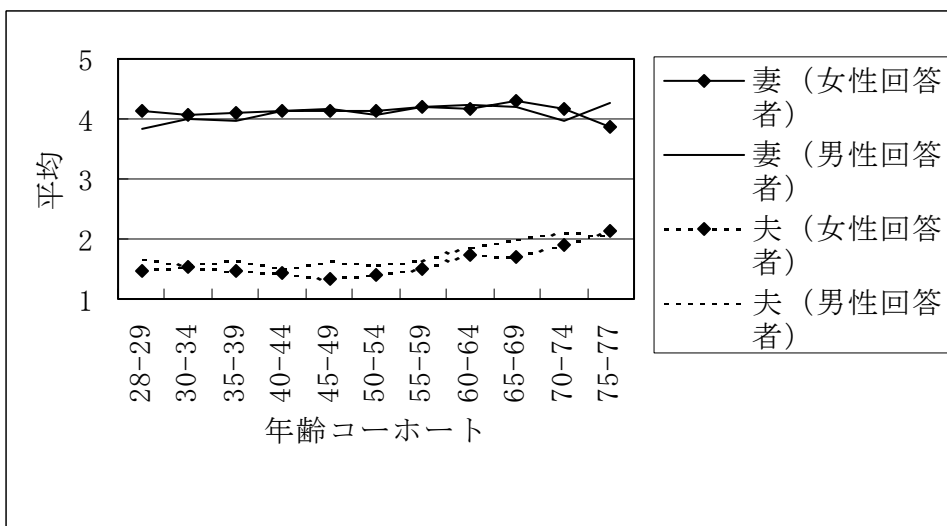


図 7-5 掃除 (部屋、風呂、トイレなど)

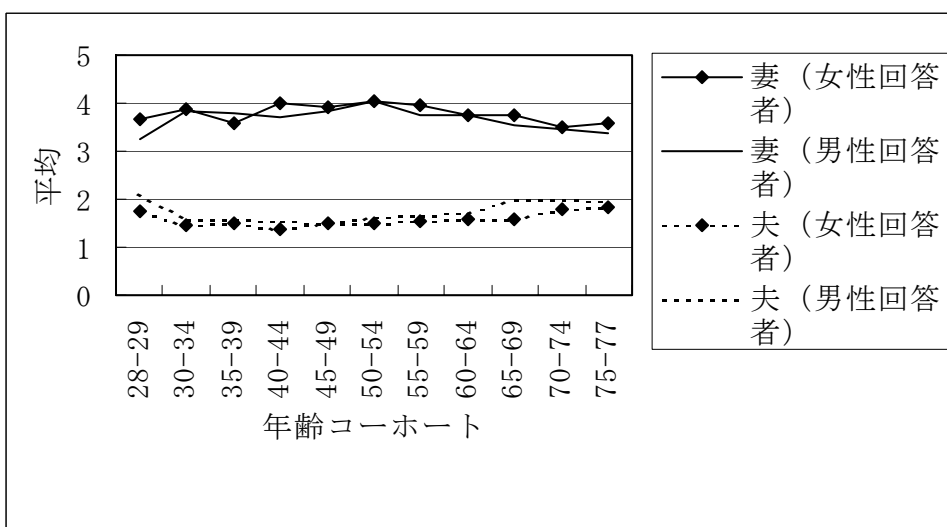


図 7-6 NFRJ98 風呂の掃除

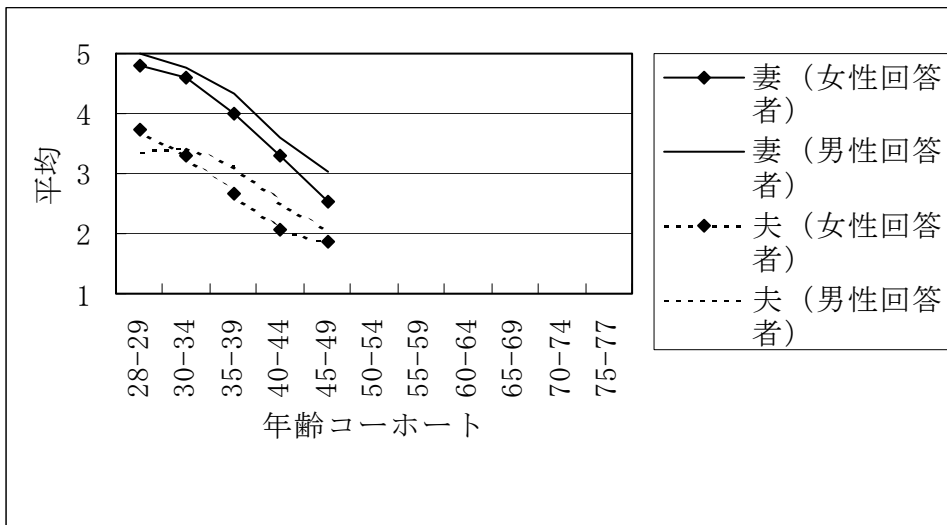


図 7-7 子どもと遊ぶこと

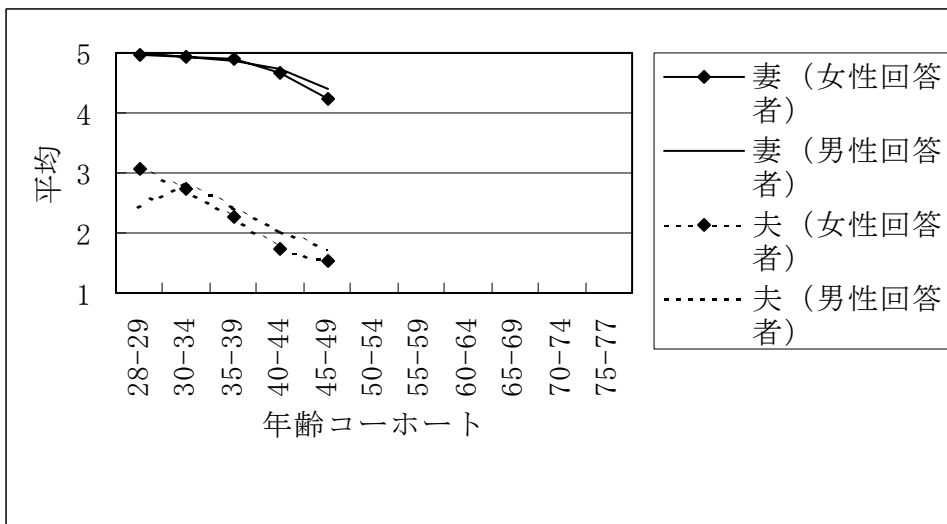


図 7-8 子どもの身の回りの世話

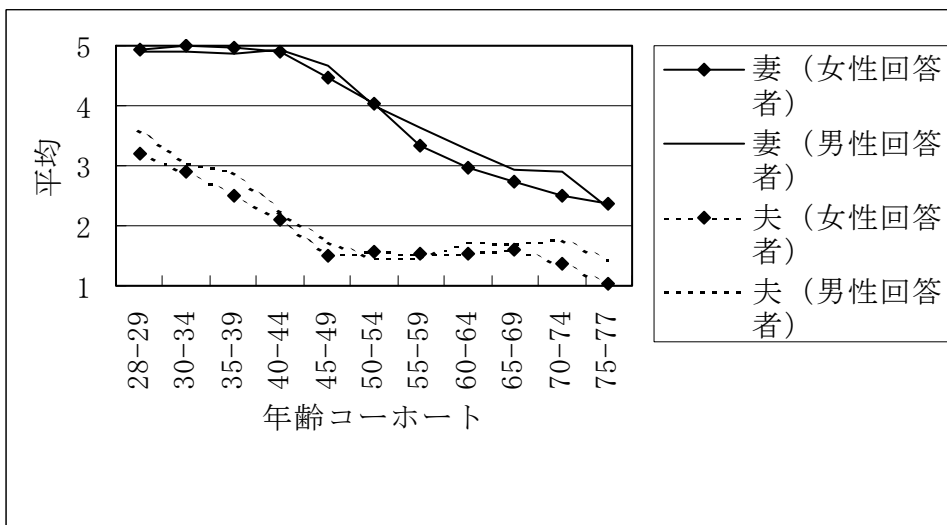


図 7-9 NFRJ98 育児や孫・子どもの世話

## 7-2 配偶者からのサポート

図 7-10 から図 7-12 までは、配偶者からのサポートについてプロットしたグラフである。配偶者が「心配事や悩みごとを聞いてくれる（図 7-10）」「能力や努力を高く評価してくれる（図 7-11）」「助言やアドバイスをしてくれる（図 7-12）」の 3 項目について、それぞれの程度あてはまるのかを「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の 4 つのカテゴリーを 1、2、3、4 で回答させている。グラフでは 1→4、2→3、3→2、4→1 に置き換え、平均点をプロットした。上記 3 種類のどのサポートについても、妻が夫から受けているサポートの量が、夫が妻から受けているサポートの量よりも少ない。NFRJ03、NFRJ98 ともに男女とも年齢の効果はほとんど認められない。

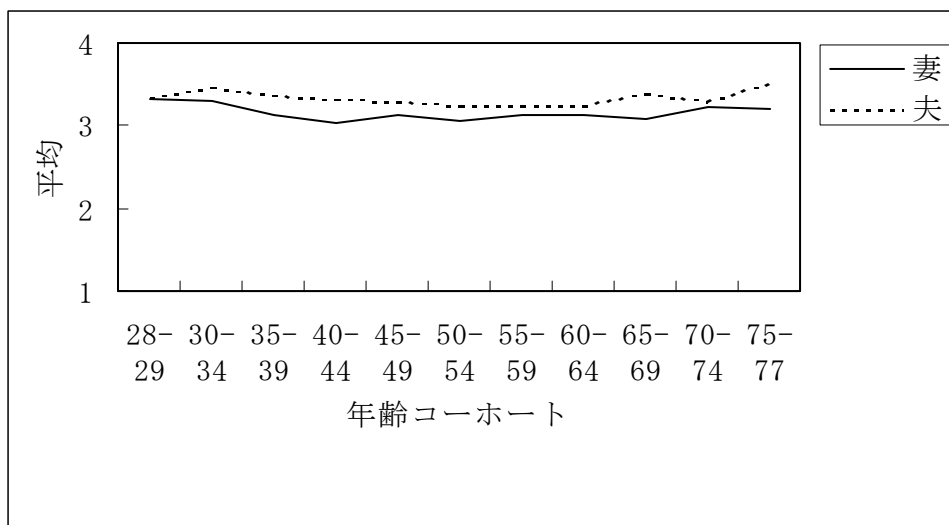


図 7-10 心配事や悩みごとの相談

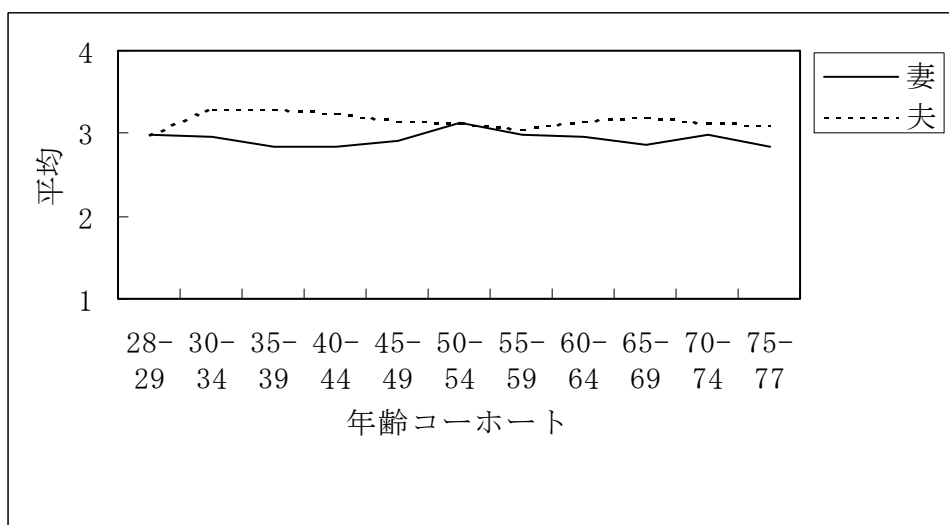


図 7-11 能力や努力の評価

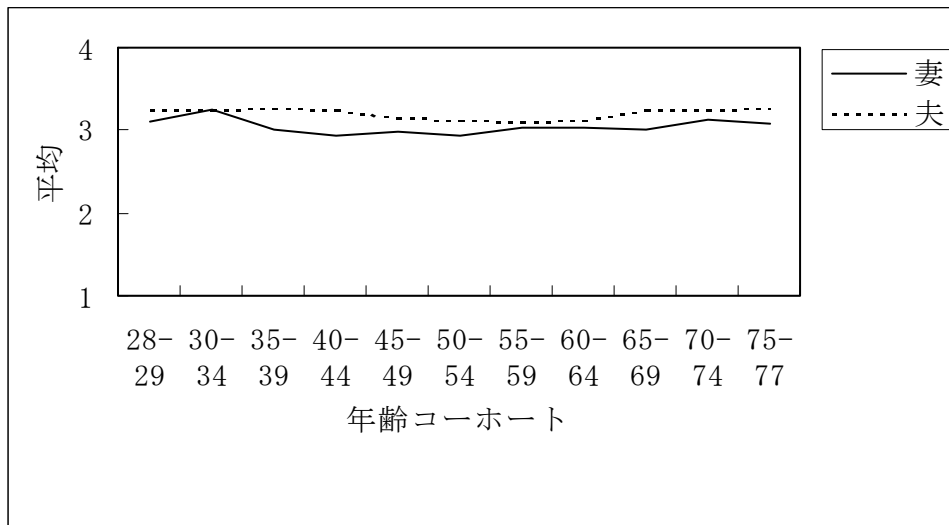


図 7-12 助言やアドバイス

### 7-3 夫婦関係満足度

図 7-13 から図 7-19 では、結婚生活の各側面における満足度をグラフに示している。具体的には「育児や子育てに対する配偶者の取り組み方について (図 7-13)」「家事に対する配偶者の取り組み方について (図 7-14)」「あなたの親に対する配偶者の接し方について (図 7-16)」「家計の分配や管理・運営について (図 7-17)」「性生活について (図 7-18)」「夫婦関係全体について (図 7-19)」の 6 項目である。回答は「かなり満足」「どちらかといえば満足」「どちらかといえば不満」「かなり不満」の 4 つのカテゴリーを 1、2、3、4 で回答させている。グラフでは 1→4、2→3、3→2、4→1 に置き換え平均点をプロットした。「育児や子育て」と「親に対する接し方」については、子どもと親のいないケースを除外した。

「育児や子育てに対する配偶者の取り組み方 (以後「育児」)」と「家事に対する配偶者の取り組み方 (以後「家事」)」については、どちらも全ての年齢コーホートにおいて妻の満足度が夫より低い。NFRJ98 では質問のしかたが NFRJ03 とは少し異なっており、「育児や子どもとのかかわり (以後「育児」)」と「家事への取り組み (以後「家事」)」という表現を使っている (図 7-15)。家事と育児については、NFRJ98 でも全ての年齢コーホートにおいて妻の満足度が夫より低く、NFRJ03 と一貫した結果が得られている。また、妻の場合、NFRJ03 でも NFRJ98 でも、夫の家事への満足度よりも育児への満足度が高い点で一貫している。

次に年齢コーホート別の満足度の比較に関して次の分析結果が得られている。まず、妻の家事や育児に対する夫の満足度について NFRJ98 では、子どもに手がかからなくなる 40 歳代半ばまでは妻の家事よりは育児への満足度がわずかに高く、50 歳代になると逆に妻の家事への満足が高くなっていた (図 7-15)。しかし NFRJ03 では、夫の年齢には関係なく一貫して、妻の家事への満足度と育児への満足度との間には大きな差異は認められないとい

う異なった結果が得られた。

次に、夫の家事や育児に対する妻の満足度については、NFRJ98 では、妻の満足度は 28-29 歳と 55 歳以上で高く、30 歳代と 40 歳代で低い U 字型曲線を描いていた。多重比較の結果によると、65-69 歳コーホートの満足度は、30 歳代から 50 歳代前半までの妻に比べて有意に高かった(家事： 30-34 歳代; $p < .05$ 、40-44 歳代; $p < .01$ 、50-54 歳代; $p < .05$ 、育児： 40-49 歳代; $p < .01$ 、50-54 歳代; $p < .05$ )。しかし NFRJ03 では、多重比較を行った結果、家事についても育児についても、65-69 歳コーホートと他の年齢コーホートの間に有意な差異は認められないという異なった結果が得られた。年齢コーホートごとに満足度を比較した時に得られたこれらの分析結果の差異についてはさらに調べてみる価値があろう。

「あなたの親に対する配偶者の接し方」については夫の満足度のほうが妻より高い。

「家計の分配や管理・運営」に関しては、NFRJ03 (75-77 歳コーホートを除く)、NFRJ98 ともに妻の満足度が夫より低い。NFRJ98 では、男女とも年齢の効果が認められ、夫では 40 歳代後半において、妻では 40 歳代前半において、「家計の分配や管理・運営」への満足度が最も低かった。しかし NFRJ03 では、年齢の効果が認められたのは妻だけ ( $p < .01$ ) で、夫には認められなかった。

「性生活」については夫と妻の間にほとんど差異は認められない。NFRJ03、NFRJ98 ともに、夫にも妻にも年齢の効果はみとめられない。

「夫婦関係全体に対する満足度」については、すべての年齢コーホートにおいて、妻の満足度が低い。妻については多重比較の結果、28-29 歳コーホートと 40-44 歳コーホートとの間に有意な差異が認められた ( $p < .05$ )。その一方で夫については、45-64 歳コーホートの満足度は、30-34 歳コーホートの満足度と比べて有意に低く ( $p < .01$ )、結婚直後にその高さが際立つ夫の満足度は中年期に落ちて、それ以降もあまりあがらないという結果が得られた。

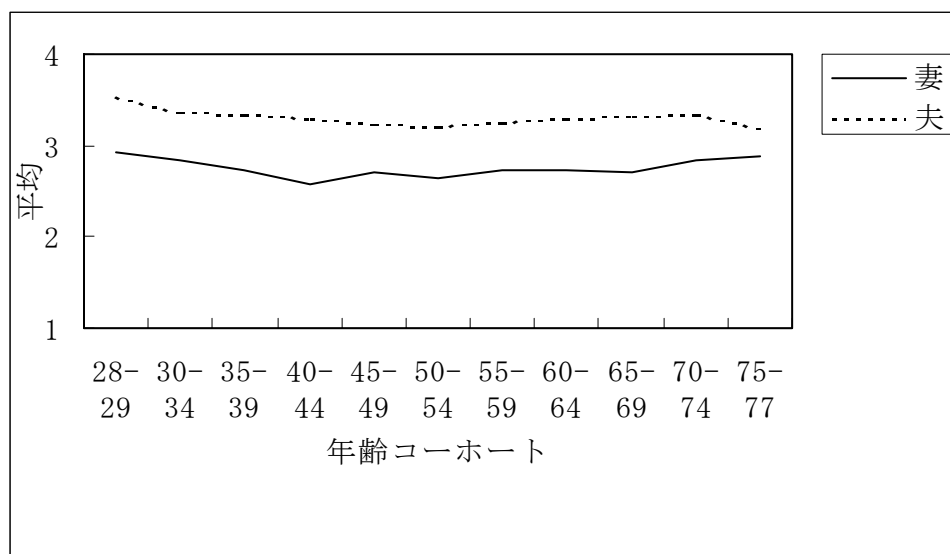


図 7-13 育児や子育てに対する取り組み

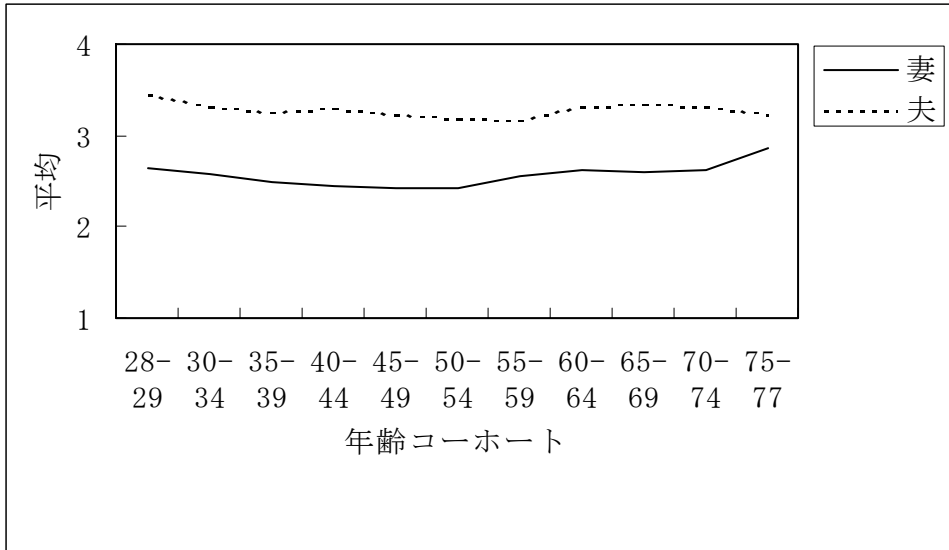


図 7-14 家事に対する取り組み

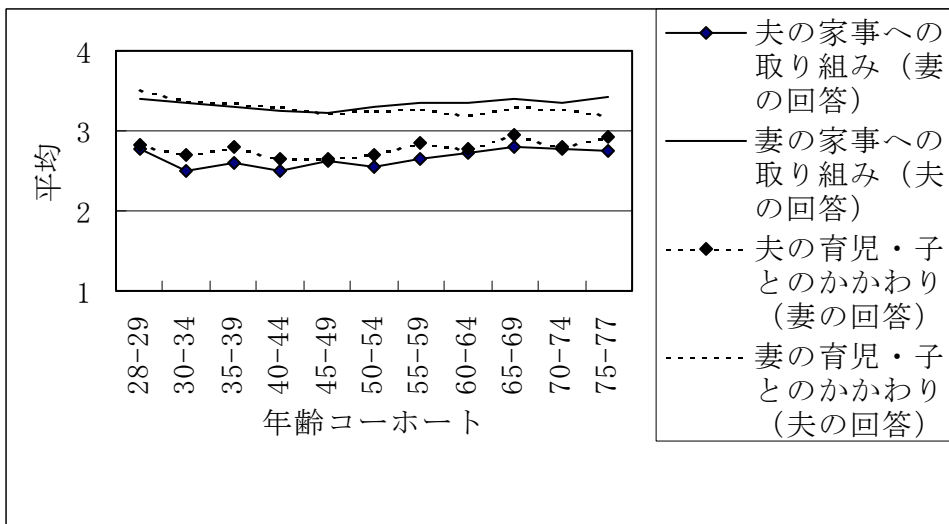


図 7-15 NFRJ98 配偶者の家事と育児

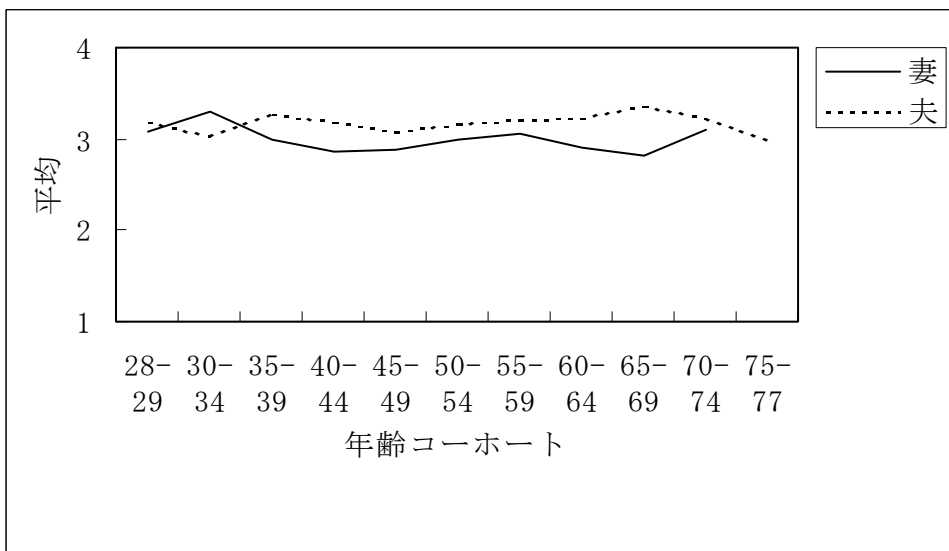


図 7-16 あなたの親に対する接し方



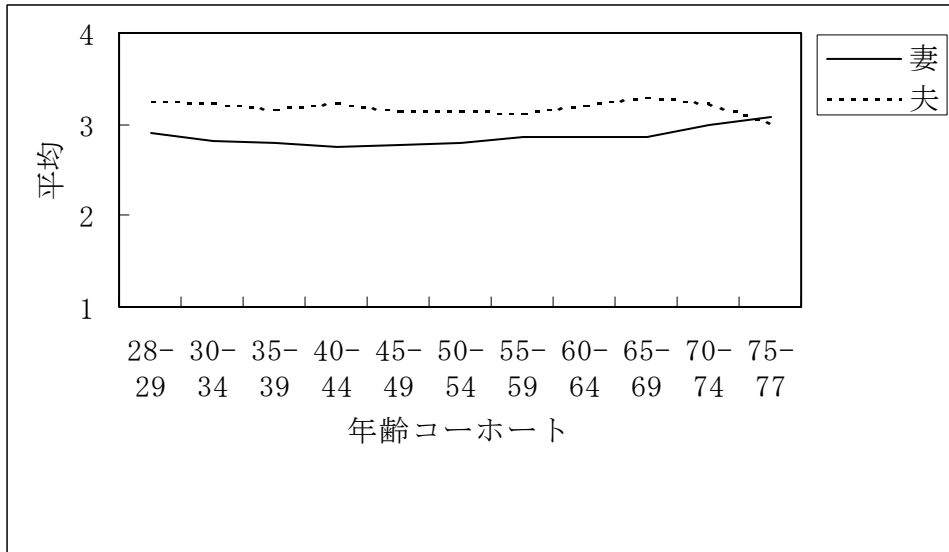


図 7-17 家計の分配や管理・運営

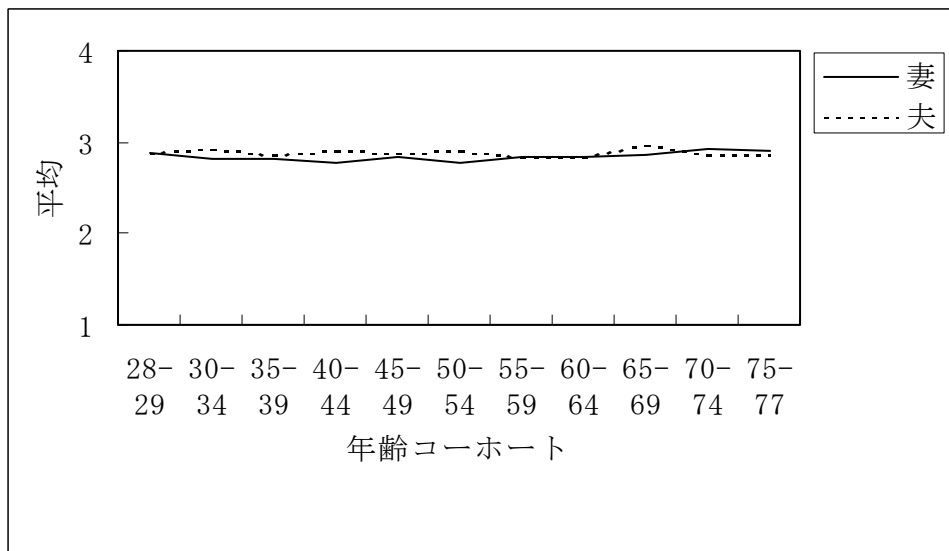


図 7-18 性生活

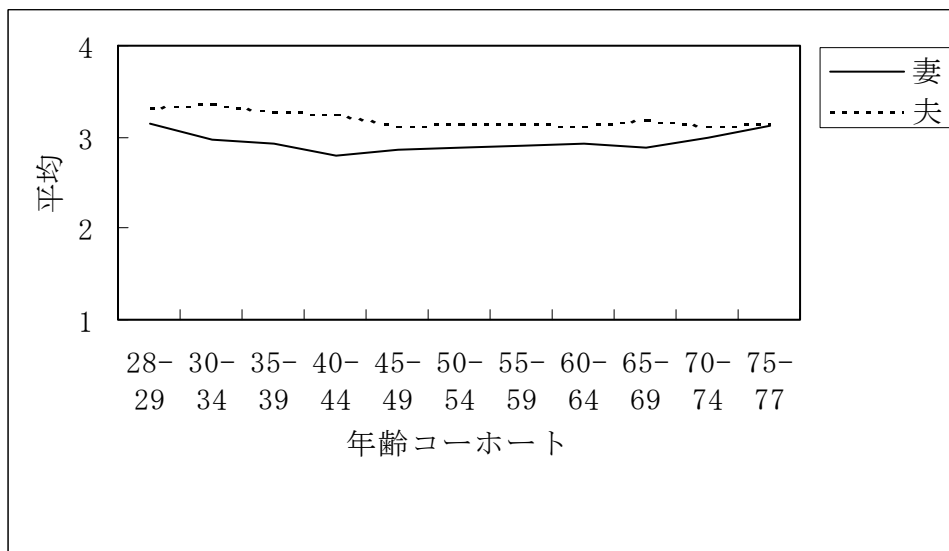


図 7-19 夫婦関係全体について

#### 7-4 夫婦のトラブルやもめごと

質問紙では、夫婦のトラブルやもめごとについて、「何度もあった」「時々あった」「まれにあった」「なかった」の4つのカテゴリーを、1, 2, 3, 4で回答させている(図7-20)。グラフでは1→4, 2→3, 3→2, 4→1に置き換え平均点をプロットした。夫婦のトラブルやもめごとに関しては妻の認知は夫より高い( $p < .01$ )。夫婦ともに年齢の効果があり( $p < .01$ )、年齢が高いほどトラブルやもめごとの認知が低い傾向が認められた。

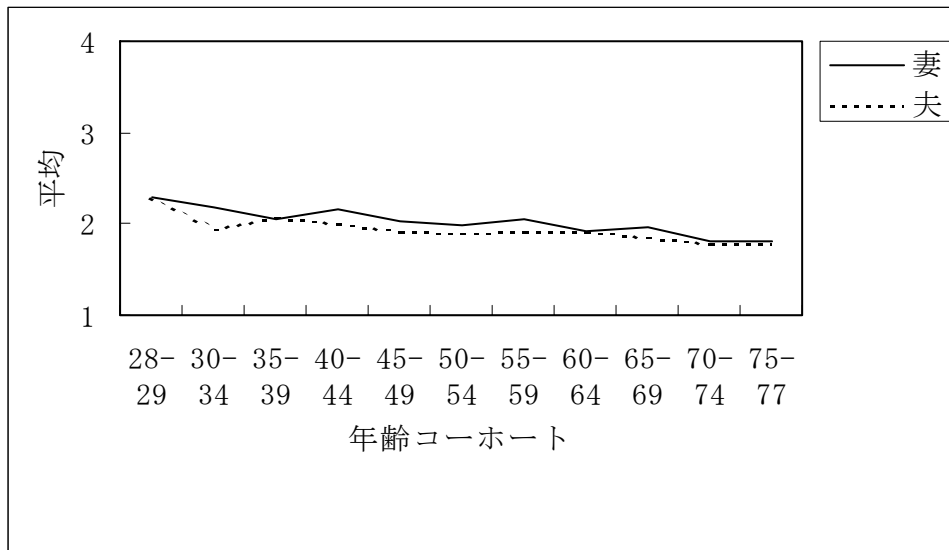


図 7-20 トラブルやもめごと

#### 7-5 小括

夫婦関係に関する以上の分析結果は、夫婦の年齢に関わらず、結婚生活が夫にとってより妻にとってあまり居心地のよくないものであることを示している。家事や育児に関してだけでなく、心理的な意味においても夫から妻へのサポートは、妻から夫へのサポートに比べて少ない。サポートの不均衡は結婚生活の各側面における満足度にも反映している。NFRJ03でもNFRJ98でも複数の角度から結婚生活に対する満足度を尋ねているが、夫婦の年齢には関わらず、どの項目においても妻の満足度は夫より低い。夫婦関係全体に対する満足度については、妻の満足度が夫より低いことは他の質問項目とも一貫しているが、夫の満足度も常にベストの状態にあるとは言えない。夫の場合には結婚当初の高い満足度が際立つわりに、中年期には有意に低下し、年齢を重ねても満足度は回復しない。

一般的に欧米に比べて日本の離婚率はまだ高くない。しかしNFRJ03データとNFRJ98データに関する分析結果で見ると、日本の夫婦も「非常に幸福」であるとは言えない。人間の平均寿命が長くなり、子どもが独立してから夫婦ふたりきりの生活が長くなる傾向にある現代において、NFRJ03の分析結果は多くの警告を発している。これらの分析結果は、今後も広範にわたる家族調査の実施を通して、日本の夫婦の実態を追跡していくことの重要性を示している。